

第1回 洞爺湖町部活動地域移行検討委員会  
会議録

令和6年8月30日 開催

第1回 洞爺湖町部活動地域移行検討委員会				
招集年月日	令和6年8月30日			
場 所	洞爺湖町役場3階 302会議室			
開会閉会の 日 時	開 会	令和6年8月30日 午後6時00分		
	閉 会	令和6年8月30日 午後7時00分		
委 員 出席 8名 欠席 2名	委 員 長	木村 省平	社会教育委員	出・欠
	副 委 員 長	舘岡 恵一	スポーツ推進委員	出・欠
	委 員	内山 勇一	洞爺中学校長	出・欠
	〃	鈴木 恭朗	虻田中学校	出・欠
	〃	矢野 雅倫	体育協会	出・欠
	〃	因幡 義人	スポーツ少年団	出・欠
	〃	永井 宗雄	洞爺湖町文化団体協議会	出・欠
	〃	村上 詠美	とうや文化協会	出・欠
	〃	長谷川 尊裕	虻田中学校 PTA	出・欠
	〃	富田 国芳	洞爺中学校 PTA	出・欠
	〃			
	〃			
	教育長	渋川 賢一		出・欠
	参 与	山本 恵一郎		出・欠
	課 長	角田 隆志		出・欠
	補 佐	高木 淳市		出・欠
	係 長	黒澤 博美		出・欠
主 事	濱塚 圭太		出・欠	
会議次第	1. 開会 (1) 委嘱状交付 (2) 教育長挨拶 (3) 委員長・副委員長選出 (4) 委員長挨拶 2. 議案 第1号 部活動地域移行検討委員会設置要綱について 第2号 部活動地域移行検討委員会議 運営規定(案)について 第3号 各中学校の部活動の現状について 3. その他 4. 閉会			

	<p>1. 開会</p> <p>(1) 委嘱状交付 (各委員へ委嘱状交付)</p> <p>(2) 挨拶 (教育長挨拶)</p> <p>(3) 委員長、副委員長選出 事務局案として委員長に木村省平委員、副委員長に舘岡恵一委員を提案 (異議なし)</p> <p>(4) 挨拶 (委員長挨拶)</p> <p>2. 議案</p> <p>第1号部活動地域移行検討委員会設置要綱について (事務局より資料に沿って説明)</p> <p><b>【意見・質問】</b> なし</p> <p>第2号部活動地域移行検討委員会議 運営規定(案)について (事務局より資料に沿って説明)</p> <p><b>【意見・質問】</b> なし</p> <p>第3号各中学校の部活動の現状について</p> <p><b>【意見・質問】</b></p> <p>A 委員 地域移行について、受け皿の地域クラブなどの見通しはあるのか。私の知る限りでは数は少ないと思うが。</p> <p>事務局 数は少ないと思うが種目によっては受け入れ可能なスポーツもあり、去年のアンケート調査で7団体ぐらいが受け入れ可能と回答をいただき、そこを中心をお願いしていくことになるかと思います。 現在中学校で部活動が行われている部活を優先的にと考えております。</p> <p>B 委員 外部指導者の確保やリスト作成なども関連する課題だと思う。</p> <p>事務局 その体制作りや部活を地域移行するために、中学校の部活動の地域移行が必要な背景を情報共有して、第2回目以降で具体的な検討に入りたいと思っております。また、9ページに記載の検討課題は一部です。</p> <p>B 委員 具体的な地域移行事例があれば参考にしたいです。</p>
--	---

事務局	<p>伊達市と登別市が行っており、登別市は文化スポーツ財団が核となって、安平町は総合型スポーツクラブが核となり行っています。</p> <p>当町には受け皿や核となる体制が現在なく部活に特化したようなものもない状況で、その体制作りや他市町の事例を参考とし皆様と情報共有を図っていきたいと思います。</p>
C 委員	<p>外部指導者については町内の方限定と考えていますか。競技によっては近隣の市町から指導者の方をお願いをしても良いと思うし、その様な事例も聞くので検討してはと思う。</p>
事務局	<p>広域で考えなければならない種目もあり洞爺湖町内で完結するものではないと考えています。スポーツの他に文化の方もあり吹奏楽部は虻中と洞中にあるので、そこをどうするのか検討が必要です。</p>
D 委員	<p>登別市では主に教職員が指導をしており職業柄異動が伴うため異動後の指導者問題もあるので、洞爺湖町では異動後も洞爺湖町の子供達を重点的に指導してもらえるようお願いする必要もあると思う。</p> <p>また、登別市では野球とサッカーがクラブチームに移行しており現実には教員がそのまま指導員という形で指導しており、4 時過ぎに仕事を持つ外部指導者が指導に來れないのが現実です。</p> <p>市が予算で報酬の支出をしており肩書きは教員から指導員という形で、サッカーも野球も指導しているのは変わらず全員教員です。早期に地域移行が進まないのではなくサッカーも野球も先生方が継続して指導を行いたく指導員という形で行われている。</p> <p>虻中のバドミントンを指導する教員は、指導するなら自分が指導したいと言っている。平日指導して土日に違う方が指導すれば食い違いが出てくるので、土日も指導出来る制度があれば土日も指導したいとの声は多いが、一方で部活動は苦手な先生方は授業に専念できることで、虻中では半々ぐらいの感じです。</p>
E 委員	<p>野球は西胆振ユナイテッドがクラブ化という形で地域移行が行われていますが、豊浦・壮瞥からも参加しているが人数も少なく試合に単独では出られない状況が迫ってきているのが現状です。伊達市は光陵中と伊達中の二校があり部活は成り立っているのも、声をかけていません。</p> <p>地域移行に関して子供たちが狭間で何もやらない3 年間で生じないように進めてもらいたいと思う。</p>
F 委員	<p>土日祝日以外の平日の部活動はどうなりますか。</p>
事務局	<p>並行して行います。</p>
F 委員	<p>外部指導者が学校内で指導を行うことで施設管理や許可等の問題などが考えられるので、その辺も検討が必要だと思います。</p>

事務局	<p>多種多様なパターンが考えられるので具体的に、この部活はどうかという話になると思います。</p>
E 委員	<p>広域での地域移行も考えていますか。</p>
事務局	<p>広域も視野に入れて考えなければと思います。</p>
E 委員	<p>広域になった場合に洞爺湖町の子供たちが豊浦・壮瞥に行くとなった時は子供たちの送迎は当然親がすると思うが、大会参加費などの部分を町の予算で支出する考えはありますか。</p>
事務局	<p>まだその段階まで行っていないので、西胆振ユナイテが行っている実情とか、こうした方が良いとか、実施しやすい方法などのご意見をいただきその上で一番最善な形を検討委員会で考えていきたいと思っています。</p>
E 委員	<p>洞爺湖町は学校開放で、グラウンド使用が可能だったのでクラブ化しても大きなメリットだった。他のクラブチームは、学校施設は使用できず市営球場などをお金出して借りており、西胆振ユナイテは少年団の会費みたいな形で運営が出来ており、他のクラブチームは何倍も資金・会費等が掛かっている。</p>
B 委員	<p>後志管内の各中学校の現状は、野球部として活動しているのが各中学校2名ずつぐらいで大会時に広域で10人集まるのが後志の今の状況と聞いています。 補助金関係や大会出場も全国大会時は、各市町村の規定に則ってクラブチームでも町の代表の選出として補助はあると思う。</p>
D 委員	<p>サッカー部に関して豊浦、壮瞥にはサッカー部がなく、虻田中学校は伊達中学校と合同で大会参加を行っていたが伊達中学校も人数不足で中体連を持って募集停止にしている。 虻田中学校と組み合わせる学校は、どこもなく虻田中学校単独という形で新入生の入部状況によっては存続が難しく選択肢もなく、学校単独という形はさらに厳しく伊達のクラブチームか室蘭のクラブチームに行ってもらうことになり、選択肢がないので学校単独という形はさらに厳しくなると思います。</p> <p>バトミントン部は2人居れば試合に出られるし団体戦は出られないが、各市町でもバトミントン部が多いので、バトミンントンの顧問の先生方は地域移行のクラブ化を急がなくても良いとの認識で、団体競技の顧問の先生方とは意識や危機感に差があります。</p> <p>吹奏楽部に関して虻中はコンクールに出ているが、洞爺中はコンクールには出ず地域のお祭りで楽しく活動をするスタンスなので、合同には顧問同士のすり合わせ等が必要でコンクールを目指すのか目指さないのであれば定期演奏会や地域のお祭りで一緒に演奏するのか、豊浦中学校もコンクールに出ているが、将来は合同で考えて行かないと、大会に出たいけど出られなくなると思うので、広域的な形で考えていかないと存続しないと思う。</p>
G 委員	<p>吹奏楽は、伊達地区吹奏楽連盟という豊浦、壮瞥、洞爺、洞爺湖町、伊達という括りで組</p>

	<p>織しています。</p> <p>室蘭地区吹奏楽連盟は、室蘭、登別の括りです。苫小牧地区は苫小牧、安平などの括りです。胆振全体と日胆地区吹奏楽連盟となっており、胆振日高になるとさらに広域になります。</p> <p>洞爺中の吹奏楽部は、全生徒 26 人中 17 人が吹奏楽部ですが、競技の受け皿を多く作ろうとしても子供が居ないので、そこをどうするかは町内だけでなく広域で壮瞥・豊浦の人数も含めて、あるいは伊達にもお願いすることも考えなければと思う。</p>
D 委員	<p>吹奏楽部では、大人の団体の虻田吹奏楽団が地元であり団体をお願いして、練習が始まるまではそこで練習するのも一つの案として、大人の団体の方で仕事が早く終わった方々が指導して、団体の練習にも参加していくのも一つの案かなと思う。</p>
G 委員	<p>以前に単独では活動出来ないの合同チームになった途端子供が試合に出られなくなったとクレームを言ってきた家庭があった。当然そういう問題も起こり、それに絡んで人、物、お金について議論されることになると思う。</p>
F 委員	<p>スポーツ系の部活の話が中心になっていますが、書道の師範の先生も来ているので、文化系では昔学校に書道部とか茶道部があったと思うが、子供の人数が少ないので茶道部とか書道部は人数が少なくても出来るので、その辺の考え方は学校で考えるのか教育委員会から打診して進めて行けるのか。</p>
D 委員	<p>どこの学校もこの状況ですから、新しい部を設置するという考えはありません。現状ある部活で生徒に合わせていく様な形だと思う。</p>
事務局	<p>部活を増やすとなれば地域で活動している団体の方々に頼らざるを得ないし、受け入れられると回答した団体の中には、お花、生け花などもあるので、今ある部活をどうするか。</p> <p>もう一つは、いろいろな部活、今週はこの部活、次の週は違う部活と種目を変えて、例えばこのスポーツはこういう感じ。文化的なものは書道と華道とかを含めて二本立てなどで考えればと思っております。</p>
F 委員	<p>昔は文化系とスポーツ系両方入っていた子供がいたので、今も入りたい子供がいると思うので、専門性を伸ばすのか、子供たちの生きる力っていうのを伸ばすのかその辺も検討が必要だと思う。</p>
事務局	<p>子供たちから昨年取ったアンケートでは、いろいろなことを経験や体験をしたいという意見が一番多かったので、そこも汲み取っていききたいと思います。</p>
G 委員	<p>洞爺地区では、現状は部活がそれしかないから成り立っている。</p> <p>月曜日は部活動を休みにして書道や柔道に行き部活と兼務して部活動を兼ねている。</p> <p>吹奏楽部に入ってもいいし書道に行ってもいい柔道にも行っても良く何をしてもいいって事になっているので、この先いろいろな事ができる事でそのバランスが崩れていく事が考えら</p>

事務局	<p>れるが、地域の方の理解が必要だと思う。</p> <p>地域のバレーボール協会の方が虻田中学校のバレー部が人数不足により大会に参加が出来ない状況であることから、少年団などの形で支援が出来ないかという動きもあります。</p> <p>それぞれの町の状況もありますが、洞爺湖町の中でまず出来るものを皆さんと探り受け皿を多く用意できたらと思っています。</p> <p>書道の話も出ましたが、出来る限り門戸は多く開きたいと思っています。希望する子供は居なくても受け入れる体制を作っておけば、次の年に希望する子供が居るかもしれません。多くの間口は広げ子供が希望した時に受け入れられる体制・状況を構築すれば選択肢も広がるとしています。</p> <p>3. その他 なし</p> <p>4. 閉会</p>
-----	--